

授業の概要					
校種	小学校				
授業日時	2014年7月2日	学年	2	教科	国語
単元名	かんさつ名人になろう パート2				
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に観察し、気づいたことや分かったことを集めることができる。 ・知らせたいことが相手に伝わるように、題名をつけ、書き表し方を工夫して書くことができる。 ・書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うことができる。 				
単元の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ①観察するものを決めて観察記録メモを書いて、カメラで写真や動画を撮る。 ②観察記録文を書き、友達と意見交換をし、さらにより観察記録文にする。《本時》 ③自分の観察記録文のいいところ、足りないところを整理して、観察記録文を書き直す。 				
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・書くときに大切なことに気をつけて、観察記録文を書くことができる。 				
本時の授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 少人数学習 <input type="checkbox"/> 習熟度別学習 <input type="checkbox"/> グループ学習 <input type="checkbox"/> 個別学習				

ICT活用場面	
授業場所	普通教室
ICT機器活用場面	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他
	その他
活用者	<input checked="" type="checkbox"/> 指導者 <input checked="" type="checkbox"/> 学習者 <input type="checkbox"/> ICT支援員 <input type="checkbox"/> 授業づくり指導員
活用機器	<input checked="" type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> 学習者用タブレット <input checked="" type="checkbox"/> 指導者用タブレット <input checked="" type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> その他
	その他
活用コンテンツ	<input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> SKYMENU <input type="checkbox"/> Schoology <input checked="" type="checkbox"/> その他
	その他 ・カメラ（標準） ・WebDAV Navigator
タブレット活用形態	<input type="checkbox"/> 一人一台 <input checked="" type="checkbox"/> 学習班に一台
活用の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換や発表をする時、写真や動画を児童用タブレットを使って提示することで、観察記録文の内容を共有することができた。 ・発表をする時、自分の伝えたいことを写真や動画（電子黒板/教員用タブレット/書画カメラ）を使って、共有することができる。

授業の展開

学習の流れ	ICT活用場面	ポイント
<p>【導入】</p> <p>「かんさつ名人」を目ざして観察記録文を書くことを確認する。</p> <p>【展開】</p> <p>観察記録文を書く。</p> <p>・「かんさつ名人」の冊子と観察記録メモをもとに、観察記録文を書く。</p> <p>友達と意見交換をする。</p> <p>・グループで内容のアイデアを出し合う。</p> <p>・アイデアを出し合った文を発表して、書き表し方を全体で共有する。</p> <p>【終末】</p> <p>観察記録文を振り返る。</p> <p>・自分の観察記録文の書き直し部分を確認する。</p>	<p>WebDAV Navigatorのフォルダに入っている写真や動画を見て、友だちの書いた文を共有する。</p> <p>書画カメラで投影して、書き表し方を共有する。</p>	<p>写真や動画を見ることで観察記録分の内容が共有でき、アドバイスしやすくなる。</p> <p>書いた文を書画カメラで投影したり、写真や動画を電子黒板に写しだしたりすることで、全体で共有することができる。</p>